自閉スペクトラム症児の耳鼻咽喉科診療を円滑に進めるためのケアガイドの開発

関連するSDGsの国際目標

人間看護学部　人間看護学科　　講師　　玉川　あゆみ
研究分野：小児看護学、地域看護学、家族看護学

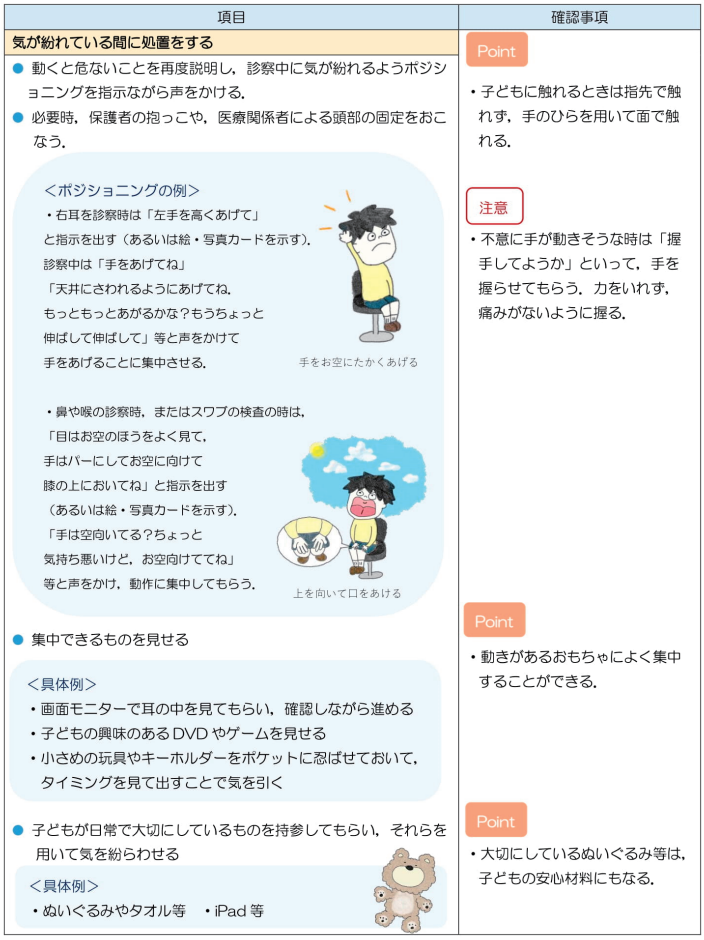
自閉スペクトラム障害をもつ子ども（以下、ASD児）は，医療受診に対する困難がある場合があります．特に感覚過敏がある場合，感覚器の診療を行う耳鼻咽喉科への受診では困難が大きいと言われています．そのため，ASD児の耳鼻咽喉科診療における問題と支援を明らかにし，診療を円滑に進めるためのケアガイドの開発を目指しています．

■自閉スペクトラム症児の耳鼻咽喉科診療における問題と支援の明確化

耳鼻咽喉科診療でASD児が抱える問題と支援について，ASD児の耳鼻咽喉科診療に携わっている医療関係者に面接調査を行いました．その結果，医療関係者は，ASD児と親が耳鼻咽喉科診療に対するネガティブな体験による心的負担を抱えていることを理解する必要性があることが明らかになりました．その上で，ASD児と親との関係性を積極的に築き，ASD児が主体的に診療に臨めるよう支援する必要性が示唆されました．

■自閉スペクトラム症児の耳鼻咽喉科診療を円滑に進めるためのケアガイドの作成

文献検討や面接調査結果を踏まえて，「耳鼻咽喉科受診が苦手な自閉スペクトラム症児の診療をスムーズに進めるためのケアガイド」を作成しましたケアガイドは，第Ⅰ部：子どもの障害特性の理解，第Ⅱ部：子どもと親への基本的な関わり方，第Ⅲ部：診療の進め方で構成しました．今後は，臨床現場において医療関係者にケアガイドを実際に使用してもらい，臨床での適用可能性を評価していきます．また，ケアガイドの活用の幅を広げていくために，アプリ等のデジタルコンテンツの開発を目指しています．



耳鼻咽喉科受診が苦手な自閉スペクトラム症児の診療をスムーズに進めるためのケアガイドの一例